

NPOバイオものづくり中部 平成29年度 医療機器分科会

～医療機器・創薬の研究開発について～

日本政府における「成長戦略」の一環として医薬品・医療機器の開発および再生医療研究を拡大させる規制・制度改革が行われております。しかし、研究開発には長い年月を要し、その継続には多くの資源・支援の準備や獲得が求められます。そのような環境の中で、多くの研究者が日々の研究開発に取り組んでおられます。NPOバイオものづくり中部では、そのような努力をされておられる研究者の中から、医療機器および創薬における研究開発についての話題提供として、名古屋大学の秋田先生と北里大学の西新先生からご発表していただきます。是非、ご参加をお願い致します。

【日時】平成29年8月1日（火） 13:30～16:10（開場13:00）

【場所】ウインクあいち（愛知県産業労働センター）10階 1007会議室
（名古屋市中村区名駅4丁目4-38）

【主催】NPOバイオものづくり中部（電話 052-203-2053）

【後援】名古屋大学協力会

【参加費】無料

講演内容

13:30 開会ご挨拶

13:35～14:45 話題提供1

演題名：「重症心不全に対するテイラーメイド心臓サポートネット治療の研究・開発」

～大学発シーズから実用化までのマイルストーン、助成制度の活用法～

講師：名古屋大学大学院医学系研究科（心臓外科）特任教授 秋田 利明 氏

要旨：重症心不全は全世界で急増しているが、適応が著しく限定される心臓移植、補助心臓装置しか有効な治療法がない。心不全は進行性の心拡大（＝心臓リモデリング）でさらに心不全が悪化していく。メッシュ状の布で心臓を覆い心臓リモデリングを防止する「テイラーメイド方式心臓サポートネット」の設計・製造システムを開発し、全国5大学で多施設共同の臨床試験（First in Human）の段階にある。本治療の原理、方法、期待される効果、市場性について講演を行う。

（休憩10分）

14:55～16:05 話題提供2

演題名：「マウス（ラット）疾患モデルドリブンの創薬研究プラットフォーム」

講師：株式会社 RESVO 取締役&CTO

兼 北里大学 生物物理研究室 講座研究員 大西 新 氏

要旨：株式会社 RESVO は診断層別化による難病克服を目指すバイオベンチャー。近年、

我々は免疫障害性統合失調症／自閉症の検査層別化血液マーカーの実用化を目指して開発を進めており、本講演ではこの血液マーカーがモデル動物研究から発見された過程や、当該マーカーの活用方法について講演を行う。

16:05～16:10 閉会のご挨拶

【申し込み先、連絡先】

NPOバイオものづくり中部事務局 担当：上井

TEL&FAX：052-203-2053 E-mail：support@bioface.or.jp

※会場準備の都合上、御社名、ご役職、ご氏名、メールアドレスをご記入の上、7月25日（火）までにE-mail：support@bioface.or.jp までお申込みください。